

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	地域との協力場面の継続と地域密着型として、地域との関わりを今まで以上に増やしていくことが課題	①地域行事への参加 ②地域で活用できるサービスの情報収集 ③外出の機会を増やし地域の方との交流を継続する ④パンフレットやホームの行事には案内状を地域の方や行政に配布しホームに足を運んでいただく機会を増やす	①広報や行政、自治会から地域行事の情報を得て参加に繋げていく ②オレンジカフェなど活用し情報収集を行う ③散歩や買物、地域へのドライブなど、家族の協力も得ながら外出の機会を増やしていく ④パンフレットを椎田・築城の社会福祉協議会や役場等に置いていただきグループホームの事を知っていただく。ホームで開催する行事に案内状を近隣の方や関わりのある地域の業者(お店など)に配布し、ホームに足を運んで頂く機会を増やしていく	12ヶ月
2	25	ご利用者の希望や思いを汲み取りながら、住みやすい場所になるようケアに反映していくことが課題	①個人の生活史を把握したケアを基盤とし、ご本人と関わりの中から希望や思いを把握しながら対応方法話し合い実践する ②個々に合わせた外出支援を行う ③ホーム内活動の充実 ④敬意のこもった声掛けをし、言葉を引き出すようにする	①個々の生活史を把握するためにご本人や家族に積極的にコミュニケーションを図り情報を得ながら、ご本人の希望や思いを探る。ご利用者個々の希望、思いを日々のミーティングの中で話し合い、少しでも思い通りの生活ができるように、その対応について話し合い実践していく ②ご利用者個人の希望の外出や気分転換が図れるように散歩や買い物など個別に対応できるものは対応していく。ご家族にも散歩や外出の機会を増やして頂くよう声掛けし協力していただく ④ご本人の思いを言葉で伝えられるように、尊厳のある心のこもった声掛けや会話を心掛け、言葉を引き出していき。ご利用者から気軽に声を掛けていただける雰囲気と環境を整えていく	12ヶ月
3					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。